

2017年6月発行

【発行】学び舎江戸東京ユネスコクラブ
事務所：〒187-0032 小平市小川町 1-904-56



<http://www.unesco.or.jp/manabiya/>

E-mail: manabiya@unesco.or.jp

「第11回学び舎ユネスコ教養・文化講座」を開催

2017年6月11日(日)午後1時半より小平市小川公民館において、発足満4年目を迎えた「学び舎江戸東京ユネスコクラブ平成29年度定期総会」が開催されました。

第一部は、昨年12月7日、「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト」が、日本ユネスコの「プロジェクト未来遺産2016」に選ばれ登録されたこともあり、ご来賓に柴俊男氏(玉川上水ネット顧問・登録証授与式当時、代表)をお招きし、未来遺産登録の経緯などご挨拶の後、総会議案審議に入りました。総会では事業・会計報告と新年度の事業計画・予算並びに新役員人事の全ての議案が承認可決されました。



第二部は、「教養・文化講座」を開催。本年は「民間ユネスコ運動発足70周年」に因み、講師に小暮強志氏(日本ユネスコ協会連盟評議員)をお迎えして記念講演会としました。この講演に先立ち日本ユネスコ協会連盟より、「平成28年度の世界寺子屋運動」に多大な貢献をいただいた方々への「感謝状贈呈」がありました。また、長年にわたり自然観察会の指導に携わっていただいている内野恵氏に学び舎ユネスコから感謝状贈呈がありました。

引き続き、「日本から世界へ広まった民間ユネスコ運動。未来に向かって、私たちの役割」と題し日本ユネスコ協会連盟の青年活動家のお一人としてバイタリティ溢れるご講演をいただきました。

- ① ユネスコ活動の70年は決して順調に推移したのではない。
- ② 特に昨今は全体の傾向として、高齢化の進行・会員離れ・ユネスコという知名度の頭打ち等。
- ③ 本来活動の中心的役割としても後継を担っていくべき青年層の薄さを懸念も痛感している。
- ④ ツイッターなどさまざまなツールが登場し、容易に情報収集・発信が出来るようになった。
- ⑤ ユネスコ活動は、交流の場・仲間作りの場としての一つの地域活動と考えれば、誰もが気軽に参加出来、さまざまな活動の輪に入って行けるのではないか。
- ⑥ そのためには青年層シニア層間で相互に存在感と価値観を認め合うことが大切なのは、と小暮氏は、強調されていました。



第三部の交流会は、ご来賓の武蔵野ユネスコ協会事務局長赤松清氏のご挨拶の後、特別企画として、昨年引き続き間中佳子さまによるピアノ演奏は「夏の思い出」と、会場の皆さまと一緒に「花は咲く」を合唱しました。また、学び舎ユネスコ活動の一環としての「生涯学習活動」の紹介があり、

①講師の常磐津八重太夫さまによる三味線演奏のご披露。

②講師の竹松さち子さまによる「フラワーアレンジメント教室」のご紹介と成果のご披露。

さらに「玉川上水自然観察会」の活動紹介。
中国健康法普及協会会長黒須孝氏の指導でストレッチ体操をして、楽しいひと時の中、癒しとリラックス気分でお開きとなりました。

午後からの定期総会、そして講演会と交流会とほぼ終日にわたりご参加いただきました学び舎ユネスコ会員の皆さま、並びに関係者の皆さまには心からの感謝を申しあげ、改めて御礼を申し上げます。

(文責：事務局)

